

健幸都市くさつの推進に向けて

～草津市健幸都市づくり基本方針に係る令和7年度の実績、評価

および令和8年度の取組状況について～

令和8年8月
健康福祉政策課





基本方針の目標



< 全体指標 >

① 健康寿命の延伸

※健康寿命は「日常生活動作が自立している期間の平均」
(客観的指標)を採用しています。

(歳)

	R2(当初)	R4	R5	R6(今回実績)	R14(最終目標)
男	82.58	82.24	81.98	81.62	83.66
女	85.92	85.16	85.00	85.86	86.60

【参考(令和4年全国・滋賀県の健康寿命)】

(歳)

	男性	女性
滋賀県	80.82(全国2位)	84.71(全国2位)
全国	79.67	84.05

令和6年度における健康寿命は、令和5年度に比べ男性は0.36年短縮し、女性は0.86年延伸しました。なお、男性の健康寿命については、死亡率が増加していること等により、平均寿命・健康寿命ともに短縮していると考えられます。また、女性の健康寿命については、70歳以上の死亡率と、75～84歳の要介護率が減少したこと等が延伸した要因になっていると考えられます。

健康寿命は、その年における死亡率や要介護率等によって影響を受けますが、結果については単年度ではなく中長期的に広い視点で捉えることが必要です。コロナ禍の令和2年をピークに全国的に平均寿命は短縮しており、草津市も同様の傾向にあります。男女とも全国2位である滋賀県の健康寿命よりもさらに高い水準で推移しています。

引き続き、市民一人ひとりの健康づくりの推進に向け、地域の関係団体等の様々な主体との連携を強化・拡大し、健康啓発や生活習慣の改善につながる取組を進めるとともに、地域の主体的な取組を支援する必要があります。また、誰もが心身の不調について「気づき」や「見守り」を行える環境づくりや、支援を必要とする方が適切に相談や支援を受けられる体制整備に引き続き取り組む必要があります。

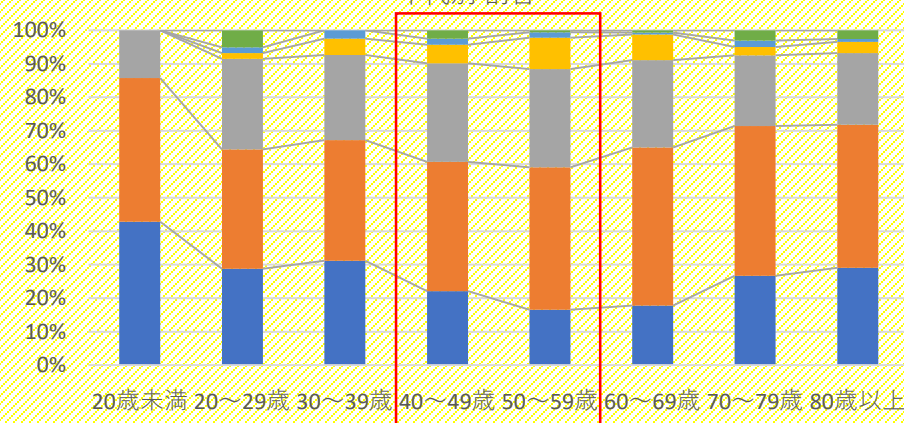
② 健幸に暮らせていると思う市民の割合

(%)

R2(当初)	R5	R6	R7(今回実績)	R14(最終目標)
—	66.3	66.2	65.4	60.0
			男 65.4 女 66.7 ※	

※男女以外の回答割合
回答しない 30.0
無回答 28.6

年代別 割合



■ そう思う ■ やや ■ どちらとも ■ あまりそう ■ そうは ■ 無回答
■ そう思う ■ 言えない ■ は思わない ■ 思わない

この指標に設定してから3年目の実績となります。目標値60.0%に対して令和7年度の実績は65.4%と令和5年度から引き続き草津市民の健やかで幸せな暮らしに対する満足度は目標値と比べて高いという結果になりました。

一方で、40代・50代は「健幸に暮らせている」と思う割合が低いことから、当該年代に対して「健幸づくり」に取り組むためのきっかけづくりや環境づくりなどの取組を推進していくことが大切であると考えます。

また、今後については、経年推移を見極めた上で、草津市総合計画において参考指標として新たに取り入れているWell-being(ウェルビーイング)指標も参考にしながら目標値の見直しを検討していきます。

<参考指標（バロメーター）>

参考指標（バロメーター）とは…全体指標の状況について考察を行うために活用する総合計画のベンチマークのこと。

■ 市民主役のまちづくりが進んでいると思う市民の割合

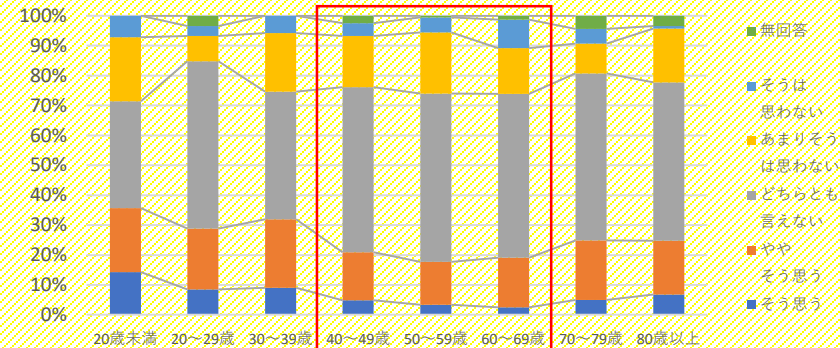
指標	単位		R6	R7	R8	R9	R10	R7目標値に対する目標達成度
市民主役のまちづくりが進んでいると思う市民の割合（%）	%	目標値		24.6	25.7	26.8	27.9	94.3%
		実績値	23.5	23.2				

令和7年度の目標達成度は94.3%と未達でしたが、各地域まちづくりセンターおよび市民総合交流センターを市民主役のまちづくりの拠点として活用し、特色のある学びやにぎわいづくりを行いました。そうした情報を広く届けられるよう市民への周知に力を入れる必要があると考えられます。

R7男女別割合（%）

男	女
22.5	24.3

年代別 割合



■ 「市民の健康づくり」に満足している市民の割合

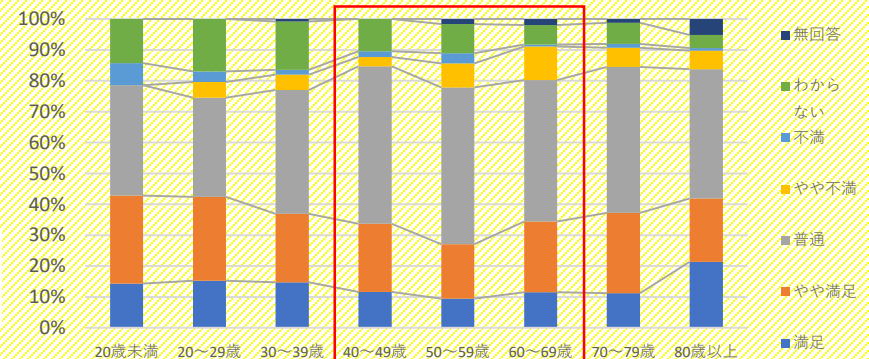
指標	単位		R6	R7	R8	R9	R10	R7目標値に対する目標達成度
「市民の健康づくり」に満足している市民の割合（%）	%	目標値		38.2	39.1	40.0	40.9	92.1%
		実績値	37.3	35.2				

令和7年度の目標達成度は92.1%と未達であったものの、市民の「健康づくり」への関心を更に高めるとともに、心身の疾病予防等に向けた主体的な取組がより一層展開されるよう、事業者や地域団体等の様々な主体との連携による取組を進めました。

R7男女別割合（%）

男	女
34.4	36.4

年代別 割合



「まちづくり情報の提供の充実」に満足している市民の割合

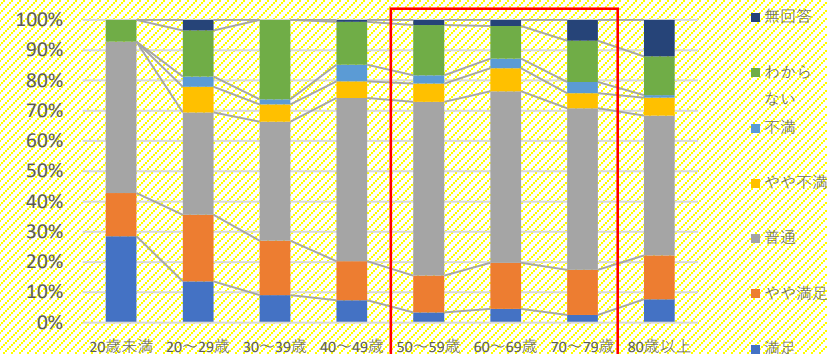
指標	単位		R6	R7	R8	R9	R10	R7目標値に対する 目標達成度
「まちづくり情報の提供の 充実」に満足している市民 の割合 (%)	%	目標値		18.5	18.9	19.3	19.7	113.5%
		実績値	18.1	21.0				

市ホームページや広報紙をはじめ、X（旧Twitter）やLINE、Facebook、YouTube等、様々な媒体を活用して積極的に情報発信を行った結果、令和7年度の目標値を達成することができました。

R7男女別割合 (%)

男	女
20.3	22.0

年代別 割合



「福祉の総合的な相談・支援の充実」に満足している市民の割合

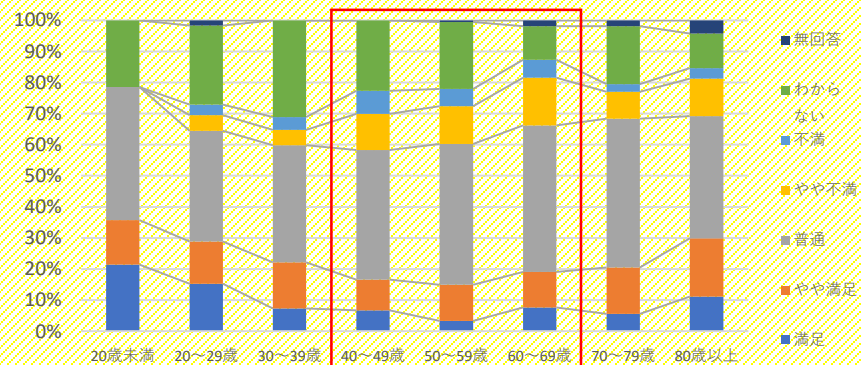
指標	単位		R6	R7	R8	R9	R10	R7目標値に対する 目標達成度
「福祉の総合的な相談・支 援の充実」に満足している 市民の割合 (%)	%	目標値		20.7	21.4	22.1	22.8	99.0%
		実績値	20.0	20.5				

複合的な生活課題を抱える人、ひきこもりや生きづらさを感じている人・世帯の早期発見に努め、様々な福祉課題に対して関係機関等と連携しつつ、各種制度や就労支援等へのつながりを行った結果、令和7年度の目標値を若干下回ったものの、昨年度に比べて0.5ポイント上回ることができました。

R7男女別割合 (%)

男	女
22.0	19.7

年代別 割合



【年代別割合・男女別割合について】

4つの参考指標（バロメーター）に共通して、40～60代の満足度が低く、不満足度が高くなる傾向にあります。
また、「福祉の総合的な相談・支援の充実」に満足している市民の割合を除いて、男性の方が総じて満足度が低い傾向にあります。

■ 令和7年度の取組実績・評価 および 令和8年度の取組状況

みんなではぐくむ健幸づくり

誰でも参加できる健幸イベントの開催

【施策の方向性】体を動かす動機付けとなる仕組みや機会の提供／誰でも簡単にできる体操の普及・ウォーキングイベント等開催

R7	◆みんなの健幸フェア（参考資料③P.1） 「睡眠×美容」をテーマとし、参加者が日常に取り入れやすい「暮らしの改善のヒント」を提供したことで、市民が健幸づくりに取り組むことのきっかけを提供することができました。加えて、働き世代の方が仕事帰りに立ち寄れるよう、また熱中症対策として初の平日夜間開催で実施した結果、夜間の公共空間が暮らしの質を高める場として機能しうることを示すことができました。（来場者数：1,415名） ◆びわこ・くさつ健幸フェスタ（参考資料③P.1） 体験型健幸イベントである「びわこ・くさつ健幸フェスタ」を立命館大学と共催し、イベント内で「くさつ・健幸ウォークラリー」を実施することで、健幸への意識・関心が低い方々に対しても健幸づくりに取り組むためのきっかけを提供することができました。（来場者数：約8,500名、うちウォークラリー1,000名）
R8	体験型健幸イベントである「みんなの健幸フェア」・「びわこ・くさつ健幸フェスタ」を実施し、健幸への意識・関心が低い方々に対しても、健幸づくりに取り組むためのきっかけを提供します。 「みんなの健幸フェア」について、R7年度は夜間開催にしたことで働き世代へのアプローチを強化できましたが、さらなる集客のため、R8年度は土曜夜間での開催や、内容の充実を図っていく必要があります。



R7	◆健幸都市 くさつランフェスティバル（参考資料③P.1） 市民のスポーツに対する関心や実践意識を高めるため、くさつランフェスティバルの開催を支援した結果、市民の体力づくり、健康づくりと併せて、市民相互の交流を図ることができました。（R7参加者数：約1,300名）
R8	市民の体力づくり、健康づくりと併せて、市民相互の交流を図ることができるようくさつランフェスティバルの開催を支援します。



令和7年度の実績・評価 および 令和8年度の実績状況

みんなではぐくむ健幸づくり

健康診査・各種がん検診

【施策の方向性】健康診査やがん検診等の受診率向上対策／けん診を受けやすい環境の整備

概要：

特定健康診査や後期高齢者健康診査、各種がん検診を実施することで、被保険者の健康課題等を的確に捉え、課題に応じた保健事業を実施することにより、被保険者の健康の保持増進、生活の質（QOL）の維持および向上を図ります。

◆特定健康診査（参考資料③P.3）

R7	特定健康診査を個別健診と集団けん診(12回)で実施するとともに、対象者の特性に合わせた受診勧奨通知の送付（郵送：約18,200件、SMS：6,000件）や、電話勧奨(2,000件)、生命保険株式会社との連携協定による周知啓発の結果、対象者の41.5%(暫定値)に受診いただくことができました。（R7受診率41.5%(暫定値)／R6受診率38.8%）
R8	託児サービスや電子申請の活用、ショッピングモールでの集団けん診の実施、SMS等を利用した対象者の特性に合わせた受診勧奨により、若い世代のけん診受診率の向上に取り組みます。また、生命保険会社との連携協定により、受診率向上に向けた保険外交員による周知啓発や集団けん診会場での健康啓発ブースの設置を行う予定です。

◆後期高齢者健康診査（参考資料③P.3）

R7	未受診者を対象に受診勧奨通知を送付（約15,000人）した結果、対象者の29.9%に受診いただくことができました。（R7受診率29.9%／R6受診率27.7%）
R8	後期高齢者医療制度加入者に対し、生活習慣病の早期発見を目的とした健康診査を実施します。

◆各種がん検診（参考資料③P.3）

R7	個別検診および特定健康診査との同時受診が可能な集団けん診を行い、集団けん診については予約枠拡大、Web予約の実施とともに、託児支援を受けられる環境づくりを行ったほか、個別勧奨・再勧奨通知や無料クーポン券を送付するなど、対象者に合わせた受診勧奨を行いました。また、イオンシネマでがん検診啓発動画を放映し周知啓発を行い、病気の予防と早期発見に資する取組を進めました。
R8	がん検診受診率の向上に向け、引き続き受診しやすい環境づくりと対象者に合わせた受診勧奨を行います。



SMSによる
受診勧奨イメージ



がん検診啓発動画



「健幸都市づくり」主な関連事業



■ 令和7年度の実績・評価 および 令和8年度の実績状況

みんなではぐくむ健幸づくり

草津市子育て6つの楽だ

【施策の方向性】妊娠・出産・子育ての切れ目のない相談・支援体制（参考資料③P.4-5）

概要：

さらに住みよいまち、安心して子育てができるまちとして草津市を選んでいただき、ずっと住み続けていただくために、6つの子育て施策を「草津市子育て6つの楽だ！」と掲げ、子育て支援の充実を図ります。



R 7	①第3子以降保育料無償化事業：0～2歳までの第3子以降の保育料について、所得制限なし・年齢制限なしでの無償化を実施し、子育て世帯の経済的な負担の軽減を図ることができました。（R7対象者数208名／R6対象者数191名） ②保育士等奨学金返還支援事業：対象者へ奨学金返還に係る費用を支援し、保育士の確保につなげ、保育環境の充実を図ることができました。（R7対象者数33名／R6対象者数18名） ③保育士等就職定着応援支援事業：対象者へ就職定着応援支援金を支給することにより、保育士の定着につなげ、保育環境の充実を図ることができました。（R7対象者数154名／R6対象者数87名） ④子ども医療費助成事業：子育て世帯等への負担軽減を図ることができました。（R7助成件数84,406件／R6助成件数79,871件） ⑤紙おむつ無償化事業：保護者のおむつ補充等や保育士のおむつ管理に係る負担を軽減することができました。 ⑥すくすく応援事業：1歳未満のこどもがいる世帯に対して、おむつ等の購入費用の助成を行い、子育て支援の充実を図りました。（R7すくすく応援事業商品券配布数：1,132人／R6配布数：1,202人）
R 8	①第3子以降保育料無償化事業：第3子以降の保育料の支援を行い、広く子育て世帯の負担を軽減し、多子世帯にとって子育てしやすいまちの実現を目指します。 ②保育士等奨学金返還支援事業：奨学金返還に係る費用支援を行い、保育士の職場への定着を促進し、保育人材の確保を図ります。 ③保育士等就職定着応援支援事業：就職定着応援支援金を給付し、保育士の職場への定着を促進し、保育人材の確保を図ります。 ④子ども医療費助成事業：助成要件を確認のうえ適切に助成を行い、子育て世帯等の負担軽減を図ります。 ⑤紙おむつ無償化事業：市内の保育施設等に紙おむつを配置し、保護者および保育士の負担軽減を図ります。 ⑥すくすく応援事業：1歳未満のこどもがいる世帯に対して、おむつ等の購入費用の助成を行い、子育て支援の充実を図ります。

■ 令和7年度の実績・評価 および 令和8年度の実績状況

みんなではぐくむ健幸づくり

子育て支援

【施策の方向性】妊娠・出産・子育ての切れ目のない相談・支援体制（参考資料③P.5）

R7	新生児訪問事業により対象者1,014件のうち98.0%の家庭を訪問した結果、養育者の心身の状況を把握し、支援が必要なケースに対しては、訪問や電話、母子保健事業を通じた継続的な支援を行うことにより、育児等に関する相談、指導等を実施することができました。（R7訪問率：98.0% / R6訪問率：99.7%）
R8	相談対応や育児への助言等を行い、養育者の不安の軽減を図ります。また、育児支援の必要なケースを早期発見し、適切な子育て支援サービスや継続支援につなげます。（訪問見込み件数：1,125件）



こども・若者育成支援

【施策の方向性】不登校・ひきこもり等への相談・復帰支援／こどもの貧困対策、孤独・孤立化対策

◆こども・若者支援（参考資料③P.5）

R7	こども・若者総合相談窓口における悩みの受け止めやこども若者支援協議会の運営、ヤングケアラーへの支援、こども・若者の居場所運営事業を実施し、こども・若者やその家族の自立に向けた支援を行うことができました。
R8	社会生活を円滑に営む上で困難を有するこども・若者とその家族を適切な支援につなげるため、引き続き困難を抱えるこども・若者や家族の自立を支援します。



◆こども食堂支援事業（参考資料③P.5）

R7	こども食堂運営者が安心して継続運営が行えるように、草津市社会福祉協議会を通じて、こども食堂の開催回数に応じて10団体に補助を行いました。また、こども食堂相互の情報交換、交流を目的に開催したこども食堂情報交換会を2回実施し、延べ28団体の参加があり、面識を深めることができました。
R8	こども食堂運営者が安心して継続運営するため、草津市社会福祉協議会と連携して支援します。



■ 令和7年度の実績・評価 および 令和8年度の実績状況

高齢者の生きがいづくり

【施策の方向性】 高齢者の生きがいづくり（参考資料③P.7）

R7	高齢者の生きがいづくりや社会交流の活性化を推進するため、老人クラブや地域サロンの活動支援に取り組むとともに、事業実施に要する経費の一部の補助を行った結果、高齢者福祉の増進を図ることができました。 （R7補助金実績 老人クラブ数：19団体、地域サロン数：155団体 / R6補助金実績 老人クラブ数：35団体、地域サロン数：154団体）
R8	高齢者の生きがいづくり・仲間づくり・健康づくり等を行う老人クラブの活動を支援するとともに、高齢者が住み慣れた地域で安心して生活し、社会交流の活性化を推進できるよう地域サロン活動の支援を行います。



eスポーツ・プール介護予防事業

【施策の方向性】 フレイル予防対策（啓発を含む）（参考資料③P.7）

R7	高齢者が主体的に介護予防に取り組むきっかけづくりのため、各地域まちづくりセンターでのeスポーツ講座、草津市立プールでの介護予防教室等を開催し、介護予防の普及啓発を図ることができました。 （R7実績 出張eスポーツ14回：189人、eスポーツ体験教室12回：40人、eスポーツ地域出前講座20回：280人、プール介護予防教室36回：84人）
R8	高齢者が住み慣れた地域で自立した生活が続けることができるよう、引き続き介護予防に関する知識および必要性の普及啓発に引き続き取り組みます。 また、令和8年度はeスポーツ対決チャレンジ講座及びシニアeスポーツ大会を開催し、高齢者等がeスポーツに取り組み、講座や大会を通じて、社会参加や多世代交流、いきがいづくり、自己肯定感の向上につながることで、高齢者の介護予防の促進を図ります。



■ 令和7年度の取組実績・評価 および 令和8年度の取組状況

みんなではぐくむ健幸づくり

高齢者の保健事業と介護予防等の一体的実施事業

【施策の方向性】フレイル予防対策（啓発を含む）（参考資料③P.7）

R7	ポピュレーションアプローチ※1として、地域の通いの場等に出向き、フレイル予防や生活習慣病予防に関する講話や保健指導を実施したほか、ハイリスクアプローチ※2として、保健師等の専門職による口腔機能のハイリスク者や高血圧等の生活習慣病重症化リスクのある者に対する健康状態の把握と保健指導等を行った結果、高齢者の健康づくりの推進と疾患等の重症化予防に努めることができました。 （R7実績 ポピュレーションアプローチ 医療専門職による出前講座71回：延べ1,114人、健幸フレイル予防講座12回：延べ58人） （R7実績 ハイリスクアプローチ 介入者：82人）
R8	引き続きポピュレーションアプローチとハイリスクアプローチを併用した保健指導等を行うとともに、令和8年度からは「健幸フレイル予防講座」とあわせて「AI×フレイル予防運動教室」を開催し、高齢者の健康づくりの推進と疾患等の重症化予防を図ります。

※1 ポピュレーションアプローチ …… 健康リスクの有無にかかわらず、集団に対して働きかけること。
※2 ハイリスクアプローチ …… 健康リスクを抱えた「個人」に働きかけること。

AI×フレイル予防運動教室

新規

【施策の方向性】フレイル予防対策（啓発を含む）（参考資料③P.7）

R8	集団での運動教室、およびAIを活用したオーダーメイドの運動プログラムを提供することにより、運動の習慣化を図ります。「健幸フレイル予防講座」と同時開催し、高齢者の方にフレイルに関する正しい知識を提供するとともに、運動を習慣化していただくきっかけとすることで、フレイル予防を図ります。 （R8実施予定 1クール13回：定員20名×2クール）
----	--



令和7年度の実績・評価 および 令和8年度の実績状況

重層的支援体制整備事業

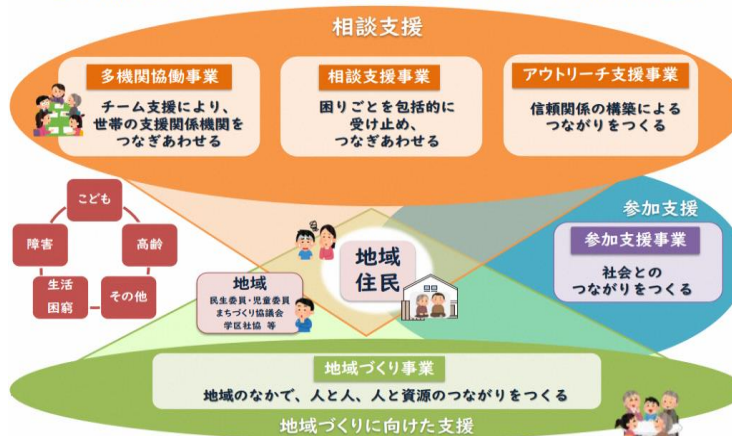
【施策の方向性】 包括的な相談・支援体制の整備、参加支援の推進（参考資料③P.8）

概要：

複雑化・複合化した課題がある世帯や狭間の課題があるケースの支援について、多機関協働として人とくらしのサポートセンターが総合調整役となり、関係課・関係機関で支援チームを構成し、それぞれの役割分担や支援の方向性を検討して支援を行います。また、長期的な寄り添いや伴走支援によるアウトリーチ支援事業や参加支援事業等を一体的に実施することで、地域や社会参加へ繋げ、包括的な支援体制の強化を図ります。

R7	こども・障害・高齢・生活困窮等といった各分野の相談支援事業と地域づくり事業や、各支援を支える多機関協働事業、参加支援事業、アウトリーチ支援事業を一体的に取り組み、コーディネート会議の開催を通じて複雑化・複合化した課題やさまざまな課題がある世帯の支援について総合調整を行い、世帯支援のチーム形成や関係機関の連携強化を図ることができました。また、草津市重層的支援体制整備事業実施計画を策定しました。 （R7実績 コーディネート会議開催回数：42回／ R6実績 コーディネート会議開催回数：47回）
R8	こども・障害・高齢・生活困窮等といった各分野の相談支援事業と地域づくり事業や、各支援を支える多機関協働事業、参加支援事業、アウトリーチ支援事業を一体的に取り組み、複雑化・複合化した課題やさまざまな課題がある世帯の支援を検討するコーディネート会議を開催し、支援関係課や関係機関との分野横断的に連携した支援体制の強化を図ります。

重なりあいつながりの構築による、人と地域の重層的なセーフティネットの整備



■ 令和7年度の実績・評価 および 令和8年度の実績状況

まめバス、まめタク事業

【施策の方向性】地域公共交通網の充実（参考資料③P.10）

概要：

市内における移動手段を確保するため、路線バスが運行できない交通不便地に「まめバス」を運行し、「まめバス」でも運行できない地域においては「まめタク」を運行することにより、持続可能な地域公共交通の充実を目指します。

R 7	まめバス・くるっとバスについては、夏休み期間中において、小学生以下のこどもの運賃を無料にする実証実験や、みなくさまつりなどの地域でのイベント等での啓発活動を行うとともに、まめタクについては、一部の地域においてワークショップを通じて路線再編を検討したほか、町内会等への説明会を開催し利用促進を行いました。 また、地域公共交通の充実に向けた取組として、社会医療法人誠光会と連携し、病院の送迎バスを活用した補完的な交通手段を提供する実証事業を実施しました。 (R7利用実績) ・コミュニティバス「まめバス、草津・栗東・守山くるっとバス」 193,363人 ・デマンド型乗合タクシー「まめタク」 2,122人 ・無料送迎バス：2,136人（R7.5～R8.3） (R6利用実績) ・コミュニティバス「まめバス、草津・栗東・守山くるっとバス」 167,313人 ・デマンド型乗合タクシー「まめタク」 2,507人
R 8	まめバスについては、夏休み期間中において、小学生以下のこどもの運賃を無料にする実証実験や、地域でのイベント等での啓発を行い、利用促進に取り組みます。 また、まめタクについては、全路線でキャッシュレス決済を導入するとともに、ワークショップの実施を通しての路線再編の検討や、説明会の開催による利用促進を行います。

小学生無料！
なつやすみは まめバスにのろう！

2025年
7月19日(土)
～ 8月30日(土)
(日・祝日はおやすみ)

期間中にバスに乗って1回以上乗車して応募すると
賞品が抽選で当たる！
応募期間：2025年8月15日(金)～9月12日(金)まで
抽選結果：9月12日(金)まで
抽選結果をメールで知らせます

賞品：
賞品1：ミニバス乗車券
賞品2：ミニバス乗車券
賞品3：ミニバス乗車券
賞品4：ミニバス乗車券
賞品5：ミニバス乗車券
賞品6：ミニバス乗車券
賞品7：ミニバス乗車券
賞品8：ミニバス乗車券
賞品9：ミニバス乗車券
賞品10：ミニバス乗車券

TEL 077-561-2343
松江市地域公共交通活性化
再生協議会

2025年7月19日(土)
松江市ホームページ
松江市交通政策課 (5階)
イベント情報



「健幸都市づくり」主な関連事業

令和7年度の実績・評価 および 令和8年度の実績状況

健幸につながるまちづくり

「健幸都市くさつ」広報・啓発事業

【施策の方向性】「健幸都市づくり」に関する情報発信の強化（参考資料③P.10）

概要：

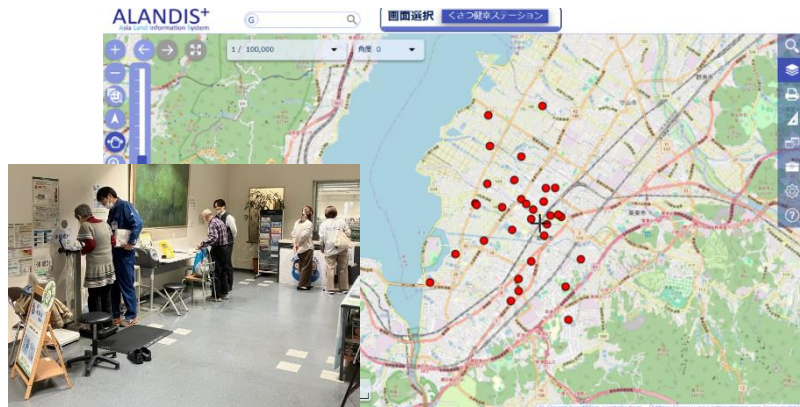
市民や市を訪れる人等に対し、「健幸」の重要性を発信し、より多くの人に「健幸」を意識してもらうため、「健幸都市くさつ」啓発・PR用動画の放映、ウォーキングイベント等を実施し、様々な方法で情報発信の強化に取り組めます。

R 7	市民が健幸づくりに取り組むためのきっかけづくりや、環境づくりを行うため、広報・啓発事業として、啓発用プロモーション動画の映画館での放映や、横断幕の掲示等に取り組みました。 また、健幸都市くさつ公式SNSでは、市の健幸関連イベントを紹介するnote記事を6件発信するなど、幅広い方に健幸都市づくりの取組を知っていただき、「健幸都市くさつ」の効果的な啓発・周知（情報発信）につなげることができました。 立命館大学との共同研究結果に基づいた運動プログラム動画を作成し、市の公式YouTubeチャンネルで公開したほか、市がYouTubeに公開している運動・体操動画に取り組みやすくするためトレカ風オリジナルカードを作成しました。 くさつ健幸ステーションの認知度向上のため、市役所2階において、「健幸ステーション体験会」イベントを実施したほか、公開型GIS「くさつマップ」で健幸ステーションの情報を公開しました。
R 8	健幸都市くさつ公式SNSを活用し、より多くの方に健幸都市づくりの取組を知っていただくとともに、様々な主体と連携し、健幸づくりのきっかけとしていただけるよう取組を進めます。



↑ YouTubeに運動動画を公開

＼全10種類／



↑ 健幸ステーション体験会

↑ 公開型GIS「くさつマップ」

＼SNSでも発信／

